

中野稲門会 会報

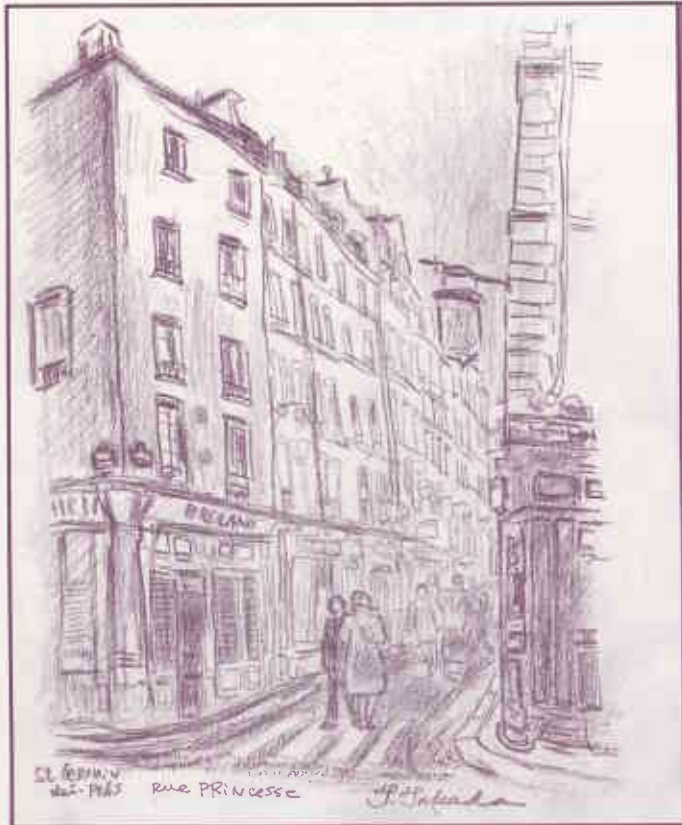
平成 18 年 7 月 29 日
第 27 号



中野稲門会

発行 中野稲門会
住所 中野区中央 5-39-11 青柳ビル
(株) 新日警内
TEL 03-3384-1400

さざんかの道



10月22日は「心の故郷ワセタ」で懐かしい学友に会おう！ 2006稲門祭&ホームカミングデーのご案内

今年の「稲門祭&ホームカミングデー」は10月22日(日)に開催されます。当日は記念会堂に卒業後50・45・35・25年目の校友をお招きして10時30分よりホームカミングデーの式典が執り行われます。引き続き盛り沢山の稲門祭アトラクションが西早稲田キャンパスと大隈庭園で用意されており、オール早稲田の音楽団体が結集して懐かしい音楽をお届けする「校友音楽祭」が10号館109教室で、講師に森喜朗前総理大臣を

予定している「校友講演会」が8号館B107教室で13時~14時に開かれるほか、模擬店やドリンクコーナー等が大隈庭園で楽しめます。今年度の稲門祭テーマを歴史・伝統としキャッチフレーズは「つなげ！エンジの襷(たすき)」です。早稲田大学は2007年に創立125周年を迎えますので、12年目の本年は、記念すべき125周年への「歴史」と「伝統」の架け橋の大事な年と位置づけました。校友による校友のための祭典「稲

門祭」に参加いただければ早稲田大学の歴史と伝統が実感でき、恩師や学友と旧交を温められ、有意義な一日を過ごしていただけたらと思います。会員の皆様も母校とは近距離にありながら、訪問する機会は少ないのではないのでしょうか。ホームカミングデーのご案内対象者はもとより他の会員の皆様も、ご家族をキャンパスに案内する好機と捉え「稲門祭」に奮って参加され、楽しい一日を過ごされることを願っております。

ホームカミングデーのご案内対象者

- ◎卒業後 50 年目 昭和 32 年卒業の方
 - ◎卒業後 45 年目 昭和 37 年卒業の方
 - ◎卒業後 35 年目 昭和 47 年卒業の方
 - ◎卒業後 25 年目 昭和 57 年卒業の方
- 及び、上記の方々と同期入學で卒業年の異なる方

INDEX

ホームカミングデーのご案内	1
総会報告	2
新幹事長からご挨拶	3
終戦時の思い出	4
レコード音楽界の今昔	5
夢魂川柳	5
シャンチー(中国将棋)について	6
東京都 23 区支部だより他	7
弁護士が斬る!	8
会長だより「会設立のあゆみ」	9
暇ならお散歩・番外編	10
詩・うた「ブルー」	10
世界遺産の旅「バース市街」	11
会員紹介	12
ラグビー通信	12
部会活動報告	13

◆ 2006 年度 中野稲門会 総会 報告 ◆

中野稲門会総会が、5月21日、中野サンプラザにて開催されました。総会では、事業報告と決算報告など四つの議案の審議が行われ、可決されました。

今回の役員改選では、新幹事長に高田宜美さんが、平崎敏之幹事長は顧問・幹事長補佐に就任されました。副幹事長にも新たに若手の四氏が就任され、新体制での中野稲門会の活動が始まります。

続いて、「早稲田とIT」の演題で、早稲田大学副総長の村岡洋氏に講演を頂きました。まず、「教育大学」と「研

究大学」という大学のありかたの中で、早稲田大学の現況と今後の方向について。文学部や理工学部の再編や新分野へのアプローチなど、OBとして関心の深いテーマのお話です。ITに関しては、具体的な研究事例をいくつか挙げられ、難しいテーマを生活に引き付けた話題でわかりやすくお話をいただきました。

第二部は懇親会。なごやかな雰囲気の中、楽しいスピーチが続きます。最後は恒例、応援団のエールに送られ、無事終了いたしました。



新幹事長からのご挨拶

高田宜美 (中野・昭37教育)

中野稲門会は平成10年7月5日設立され、東京23区の中では19番目の稲門会としてスタートしたと片平会長の報告にあります。以来ちよūdō8年経過したことになります。設立発起人、世話人の方々のご努力は大変なものだったと推察いたします。去る5月21日の平成18年度総会において平崎名幹事長の後を引き継ぎ幹事長就任を拝任しました。ここ、3期は幹事として参加しておりましたが、幹事長となると日々の資料作成、校友会、会員との連絡などまだ慣れないことも多く、時間に追われる毎日です。

8年も経過するとこの組織でも最初の設立時から状況が変化し、それに対応するためには人事も刷新することは一般的でしょうが、正直いつて務まるかどうか不安な面もあります。諸先輩や会員の皆さんの応援を得て任期中は頑張っていこうと思っておりますのでよろしく願います。

会の運営は、事務所や会社ではなく家で処理することが多くなります。今期は4名の方に副幹事長になっていただき、それぞれ責任体制を敷くことにいたしました。篠本さんには会計担当、伊藤さんには中野稲門会のホームページや、メールマガジン

編集など主にシステムに関わる業務の担当、萩原さんには会員担当、特に新規会員の募集、伊丹さんには機関紙「さざんかの道」を含めた広報の担当をさせていただきました。それ以外のことは会長や役員の方々とその都度話し合って進めていきたいと思っております。幸いにも平崎前幹事長が特別顧問で応援していただくことを快くお引き受けいただいておられますが、幹事の皆様にも是非応援いただきたく、何かの業務の担当にお願いしたいと思っております。

現在、部会活動の活性化、部会数の増加、会員の増強が急務と思っておりますが、鶏が先か、卵が先かわかりませんが、双方密接に関係していますので、両面から計画する予定です。また、若手の会員、女性会員の入会も推進させたいと思っております。ほとんどは中野区在住ですの

で、地域貢献なども視野に入れられたらと考えています。

ご意見やご希望などは是非お寄せ下さいませようお願いいたします。





終戦時の思い出

福島和雄 (野方・昭33商)

すべてが初めてという貴重な体験

私は小学校五年の昭和十九年七月から二十年八月まで、埼玉県児玉郡旭村(現在は本庄市)の叔父の家で疎開生活を送った。都会育ちの私にとって、農村生活はすべて初体験で戸惑い、ホームシックになった時もあったが、田植え、稲刈り、芋掘りなど今考ええると貴重な体験をした。転校してすぐ、現在でも問題になっている「イジメ」があった。私も「疎開っ子」と言われイジメられた。私は悩んだ末に先生に訴えた。先生は私の話を聞くと、早速クラス全員を集めて、厳しく注意してくれたの



昭和21年。疎開先から帰京し、中学を受験しようとしていた頃の筆者。

で二度と「イジメ」はなかった。当時の先生は、最近の先生よりも責任感が強く、権威があったように思う。

昭和二十年に入り、戦況は一段と悪化し東京はアメリカ空軍の爆撃により、山手線内側の旧市内は、ほとんど焼野原になった。日本陸軍は本土決戦に備えて、兵隊を地方の小学校に駐屯させるようになった。私達の小学校にも約百人の兵士が駐屯した。当時の中学生、女学生は勤労奉仕で工場に動員されたが、小学校高学年の私達も授業は無く、十キロも離れた児玉飛行場の土木作業(主として土砂運搬)を手伝わされた。

このような希望のない暗い生活を送ったが、唯一の娯楽は月に一回映画を見ることであった。当時の映画は戦意高揚のため軍国主義的な作品が多かったが、それでも面白かった。またラジオ放送を聞くのも楽しかった。特によく聞いたのは「前線に送る夕べ」と言う番組で、戦地で活躍している兵隊向けのもので落語、漫才、浪曲など大衆娯楽的な内容であった。この番

組のテーマ音楽がハイケンスの「セレナーデ」であった。だからいまでもこの名曲を聞くと疎開当時のことを想いだす。

そして八月十五日になった。朝のニュースで、正午に天皇陛下の特別放送があると予告された。正午になり、叔父の家族と共にラジオの前に正座して天皇の「終戦詔勅」を聞いた。昭和天皇独特のカン高い声で「朕深く世界ノ大勢ト帝国ノ現状ニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以ツテ……」と放送が始まった。私には詔勅の

内容がよく理解できなかった。一緒に聞いていた叔父の目から涙がこぼれた。戦争が終わったのだ。

終戦直後とは隔世の感ある現在の食糧事情

九月に入り慌ただしく帰京することになった。よく喧嘩もした遊び仲間数人が村の境界まで見送りに来てくれた。東京に一年一ヶ月ぶりに帰って驚いたのは、中野も我が家の附近まで焼野原になっていたことだ。また強く感じたのは、食糧事情の悪さであった。お米は配給制度であったが、配給の遅れで食べる物が無く困っていた。当時育ち

盛りの四人の子供を抱え、母は川越附近の農家に行き、着物と交換でお米や「さつまいも」を手に入れた。父も時々闇市でお米を買ってきた。我が家も狭い庭に「かぼちゃ」や「とうもろこし」を作って飢えをしのいだ。現在のような「飽食」の時代には考えられないことである。だから現在日本の食糧自給率四十%は問題があると思う。私が疎開した所でも専業農家は二十%で、残りは兼業農家で休耕田が目立つ。政府は農業の株式会社化を認め、大規模生産の集団農業化して、もつと農産物を安く生産し外国に頼らず、自給率を高めるべきだと思つた。

平成18年度 中野稲門会行事予定

<2006年>

●4月

- 1日(土) 知技研月例会(お花見)
- 18日(火) 東京都23区支部平成17年度定時総会
- 22日(土) 役員会、総会案内/会報26号送付

●5月

- 16日(火) 23区支部18年度第1回幹事会
- 21日(日) 中野稲門会平成18年度総会・懇親会
- 26日(金) 「さざんかの道」広報部会編集委員会
- 28日(日) スポーツ観戦部会 早慶戦観戦(神宮球場)

●6月

- 1日(木) 中野稲門会・杉並稲門会ゴルフ部会
- 2日(金) 豊島稲門会総会に会長出席
- 3日(土) 絵画部例会
- 9日(金) 音楽部会「チェロコンサートを聴く会」
- 10日(土) オール早稲田囲碁祭
- 23日(金)～24日(土) 絵画部会写生旅行

●7月

- 1日(土) 「歩こう会」(浜離宮、浅草)
- 8日(土) 会長大学商議員会出席
- 29日(土) 役員会 (織田学園)

●9月

- 26日(火) 校友会代議員会

●10月

- 22日(日) 稲門祭

<2007年>

●1月

- 22日(土) 新年会(予定)

レコード音楽界の今昔 星野敏郎(中央・昭33政経)

かつての音楽業界、とりわけレコード業界は、「歌手」がレコード会社の所属なのは当然としても、作詞・作曲家もレコード会社の「専属」で出来ていた。古くなるが、有名なところで作詞家西条八十、作曲家古賀政男は日本コロムビア・レコード、作詞家佐伯孝夫、作曲家吉田正はビクター・レコードの専属作家という次第で、戦前の古い時代は分からないが、これが日本の長いレコード音楽界の特色だった。

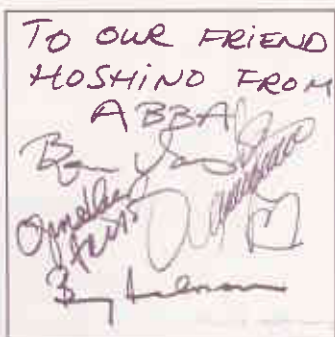
戦後、メディアの発展とともに「音楽出版社」の出現・発展で、歌詞・楽曲の著作権がレコード会社所属から音楽出版社(者)所属へと変っていった。



音楽著作権の権利者と使用者(利用者)を仲介する機関、日本音楽著作権協会(JASRAC)も実演・演奏や印刷・出版中心から、録音権(俗に云うレコード化権)を中心に扱うところと変わっていった。これらは音楽業界誌オリコン(オリジナル・コンフィデンス社刊)40年の歴史が示す業界のデータが最も詳しいし、業界の発展を物語っているようだ。



初めは楽譜中心の出版そのものだったが、オリジナル作品の制作にもかかわっていった。邦盤ではヤマハ音楽振興会の八神純子(みずいろの雨、パール・タウン、想い出は美しくして他)、因幡兎(わかつて下さい、別涙他)、洋盤ではシンコー・ミュージックのABBAアバ(編集上の注記:2文字目Bの鏡字)(ダンシング・クイーン他)、ダニエル・ブーン(ピュティフル・サンデー)等々、少女古い作品・音楽家の羅列となっていました。世の移り変わりの一例をあげてみた。



ABBAとの記念撮影(写真上2点)と彼らのサイン(写真右)。

夢魂(むたま) 川柳へその五

【家元ひがし】東 直彦(中野・昭和41理工)

風孕み緋鯉は空に子を宿し
 ボールペン芯替え元気羨し
 消防車近所で止まり夜尿症
 モーツアルト人生そのもの破綻調
 玉音とは玉門の音かと赤らめて
 陽にかざす桜一輪まさに爛漫
 目出度さに結納寂しさ半返し
 耐震の偽装は一級殺人鬼
 いざ帰らん小さな我が家の大聖堂
 保を割って保保を寄せ合い2大政党
 誤審敗球史に一勝王ダフル
 (御心配九死に一生ワンダフル 家元蛇足)
 蝶ネクタイくれたあの娘と超肉体関係
 彼岸をばクイックターンで蹴り此岸
 巫女達の車内携帯笏の種
 千葉補選「最初はグーで結果はパー」
 大湯殿独り四股踏み締め無し
 誤字見つけ合格祈願に絵馬苦笑
 菖蒲湯で噛んで五月を確かめる
 亡き父の靴の減り方教えて下さい
 片目つつ瞑って幸せの位置捜し
 ガンになり名医さっさと医者をやめ
 (川柳も近年終末医療に組み込まれています 家元蛇足)
 ブランドを身に着け動物さかり合い
 気にするな人生何度かオウンゴール
 「バカの壁」しっかり越えれば「国家の品格」
 いい奴だいつか何処かで一合二餌
 節穴も近づく程に見え過ぎて
 百均は癒しも少し付けて売り
 組織人世界を知るも世間知らず
 父と子の今日を見抜く母一瞬
 下り坂どこから先が余生かな



この度夢魂川柳集第二巻をつくりました。第一巻と同様に頒布価1,000円でナント一句2円です。希望者の方お知らせ下さればすぐに郵送します。 家元 東柳

連絡先掲載サイト
<http://www.higaship.com>



シャンチー (象棋・中国将棋) について

渡辺 駿一郎 (上鷲宮・昭29政経)

皆さん「シャンチー」と言う言葉をお聞きになったことがありますか？ 中国に旅行すると街角や公園などで「シャンチー」の対局をしているのをよく見かけます。私は「シャンチー」の愛好家で、この「シャンチー」についてお話ししたいと思います。

シャンチーの歴史と現状

漢民族の創造した「シャンチー」はチェス・囲碁とともに「世界三大知的スポーツ」の一つとも言われております。古代インドの「チャトランガ」という盤上ゲームが西に伝わって「チェス」となり、東に伝わって「シャンチー」となつたとい

うのが通説となっております。盤・駒・ルールが大体現行の様
1993年に北京で行われた第3回世界選手権にて(向かって右端が筆者)。

になつたのは、今から約二千年前の北宋(九六〇年〜一二七〇年)の時代と言われております。

一九七八年には「アジア・シャンチー連合会」が結成され、更に一九九三年には「世界シャンチー連合会」が結成され、現在世界で約四十の国と地域が加盟しております。

日本はこれを機に北京で開催された世界選手権大会に初めて参加し、私も役員の一員として参加しております。

「シャンチー」の競技人口についてははっきりとした統計はありませんが、約五〜六億人とみられております。日本での競技人口は在日中国人を含めて約十万人と推定しております。

日本における「シャンチー」

日本が一九七二年九月の日中国交回復のすぐ後に毎日新聞が「中国将棋講座」を東京・大阪・名古屋で開催し、この受講生が中心となって、一九七三年「日中象棋協会」が設立され、

一九九〇年「日本シャンチー協会」と改組。現在、年一回の全日本選手権大会、二ヶ月一回のトーナメント大会等略毎月一回の活動を行っております。会員数は約百五十名でまだまだ少数です。

「シャンチー」の盤と駒

盤は縦九本、横十本の線が引かれ、九十の交点があり、駒は二つの交点に置きます。縦の線は中間の「河界」で切れておりますが、駒は動かせません。駒は紅(先手)、黒(後手)それぞれ十六個合わせて三十二個あります。

師(将)一・士一・相(象)二・車二・馬二・炮二・兵(卒)五
計十六

対局開始前の並べ方は左図の通りです。盤の縦の線は

紅方は右から一路……九路
黒方は右から一路……九路
ということになっております。

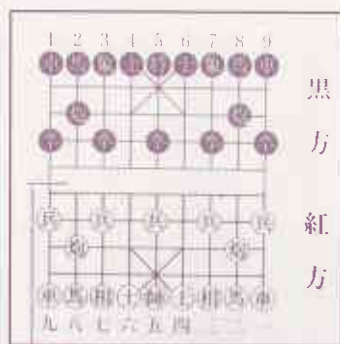
なお図では紅方・黒方とも漢字の頭が上になっていますが、実際ゲームするときは黒方も自

分の駒の頭を相手に向けておきます。

駒の動かし方、戦い方については長くなりますので省略します。先方に勝つには日本将棋と同様で、先方の師(将)に王手をかけて、先方が防ぐことが出来なくすることです。

なお、入門書としては、左記のものが良いと思います。

「シャンチー(中国将棋)入門(駒・紙盤付き)」(2,500円)
所司和晴著 河出書房
(一九九八年十一月刊行)



河界



2002年に行われた第29回全日本選手権大会(上の写真で真ん中で指しているのが筆者)。

《東京都23区支部だより》

23区の各区稲門会のまとめ役となる校友会・東京都23区支部も、2006年度の活動をスタートしています。支部長担当区は、一年ごとに交代となる仕組みになっており、今年度は、大田区がその任に当たっています。中野区からは高田宜美さん(本会幹事長)が支部幹事として派遣され、ほぼ毎月開催される幹事会の場で討議に加わっています。

支部の主な事業は、ご存知の通り、大学ホームカミングデーにおける稲門祭の大隈庭園運営統括(今年度は10月22日開催)、支部大会講演会(今年の3月22日は、田原総一郎氏『日本の外交と経済』を開催)であり、直近の6月幹事会にはその対応方針を決めるなど準備がスタートしつつあります。なお、稲門祭自体は、毎年各支部が持ち回りで統括しており、今年度は埼玉支部が実行委員会のとりまとめを行っています。うーん、ややこしい！

来々年2007年度は、大学125周年の祝典と重なりホームカミング・稲門祭は二日間になつて開催されるそうです。

2006稲門祭公式ページ
<http://www.waseda.jp/alumni/tomonsai/>

IT化最先端の中野稲門会一月刊メルマガのおすすめ

インターネット環境がある会員諸氏は、中野稲門会ホームページ(<http://wnakano.moo.jp/>)にアクセスいただいているかと思いますが、また、パソコンのメールアドレスをお届けいただいた方には、本会報『さざんかの道』よりは多少気楽に投稿いただける中野稲門会メールマガジン(毎月20日、各人のメールアドレス宛へ配信)をお楽しみいただいています。

全稲門会の中でも最も充実していると言われる会報『さざんかの道』、会ホームページに加え、他稲門会でも例のない月刊メールマガジン配信はかなりユニークと評されています。

先月のメルマガ6月号では、恒例の<なかとう句会>、話題の<夢魂川

柳>、既に52話を重ねる<海外旅行の変わった話>、信州の自然を語る<田舎暮らし>、影の名政治評論家による<辛口コラム>、たまに休載がありますが知的探索の金字塔<こんな本あります>、母校での公開展示会・講演会情報<キャンパスにおける主な催し>など、てんこもりの濃い記事を掲載。まだ配信されていない方はぜひ、会ホームページ(右下写真参照)の《稲門会サイトの案内から、中野稲門会<なかのメール>》で登録をお願いします。当然、無料です。同ページから、いつでもご自身で、配信中止とかメールアドレス変更も可能です。操作方法がご不明でしたら、事務局に受信メールアドレス(携帯は不適です)をご連絡く

ださい。さらに、ひとつご自身の関心分野で投稿でもしてみようか……など大歓迎です。毎月19日までに会メールの wnakano@cs.moo.jp へ原稿をお送りください。まだインターネットはちょっと……という方も、この機にぜひ挑戦してみたいかがでしょうか。パソコンに不慣れだけどやってみたい……という方は知の技術研究会メンバーが気軽にサポートも申し受けます。



<http://wnakano.moo.jp/>

広報部では、これまでも多くの会員の皆様に、原稿を依頼してまいりましたが、編集部ではまだまだ原稿の他にもみなさまの趣味で出来上がった自慢の作品の写真など、いつでもウエルカム状態です。編集部からの依頼を待つのではなく、何かを発信したいと少しでも思いつくことがあったら、迷うことなくすぐに行動です。

前に依頼を受けて書いているから、とか、今度登場すると立て続けになるから……などといった遠慮は無用です。なんなら、いつそのこと連載して頂いても構わないのです。実際すでにこの「さざんかの道」で連載を持っておられる会員の方もいらっしゃいます。

原稿、作品だけでなく、「こういう企画はどうだ?」「こんなことをすれば、みんなが作品を寄せてくれるんじゃないか」といった、アイデアだけでも構いません。

会員の皆様の意欲的な参加を、広報部一同常に心待ちにしております。



みなさまの
 作品、原稿、
 お待ちしております



弁護士が斬る！

宮本 智（上鷲宮・昭46法）

「あ、無情！夫の婚費負担について」

生活保持義務と
生活扶助義務のちがいは

前回、私はこのシリーズで、調停を甘く考えずに、弁護士に相談することが大切であると書きましたが、その弁護士でさえあまり役立たないのが、これからお話する婚姻費用（養育費も同じですが）を相手方配偶者から求められる調停事件の場合です。夫が妻に婚姻費用（略して婚費と言ふことにします）を請求するということも考えられますが、実際には妻が夫に請求する場合がほとんどですので、現実的に即して、その場合について述べましょう。

一家の大黒柱である夫には、婚費を負担する義務があります。



妻と未成年の子供がいるときはその子供をも扶養していく義務があるわけですが、その内容は他の親族に対する扶養義務よりずっと高度です。即ち、夫には自分の生活を保持するのと同程度の生活を妻と子供にも保持させる義務があるのです。具体的に言いますと、朝食時に一個のパンしかないとしましょう。このように、それがひとりの飢えを満たすのに十分でないときでも生活保持義務上、皆んなでそれを等分して食べなければいけないのです。

婚費算定の要素

このように、同じ扶養義務と

いつてもその内容は全く異なります。その差異に注意しながら生活保持義務である婚費についてお話をすすめていきたいと思います。夫が妻から婚費を請求されるというのは、おそらくふたりの結婚生活が既に破綻状態にあり、双方またはいずれか一方から離婚話が出ているときでしょう。その場合、夫は何らかの理由で婚費（俗に生活費という言い方もしますが）を入れなかったり、あるいは減額したりすることがあります。（この際、妻に対するイヤガラセのような婚費の打ち切りは除外します）。しかし、婚費の額を決めるについては妻に婚姻破綻の責任や不利な事情があつても、そのことは考慮されません。たとえば夫にはこれといった帰責事由がないのに、妻が離婚したくて勝手に家を出て行ったというような場合でも、夫は妻の新たな住まいの家賃についても生活保持義務上、これを負担しなくてはならないのです。

果たしてそれでよいのか？

私は別居制度が認められていない我が国において暴力をふるわれたわけでもないのに安易に家を出た妻の家賃まで夫に負担させるのはおかしいと考え、高等裁判所まで争つたことがあります。この事件では夫に帰責事由はありませんでした。子供の教育方針をめぐる考え方の違いが妻の離婚理由（離婚理由も随分と多様化しました）から、二〇年近い結婚生活が三下り半の書き置きにより事実上終止符が打たれたのです。夫にはかなり高額収入がありましたので、世間並以上の高い婚費の支払いが命じられました。夫は会社の仕事が多忙を極め、ほとんど夜遅く寝に帰るような毎日でした。妻が家出し、別居生活ともなればこれまで以上に家計がかさむのは道理です。しかも家を出るほどの合理的理由もないのに、あえてこの妻は家計増加の原因をつくつたわけでは、

か、今の裁判所は婚費算定に当たっては、そのような事情をまったく考慮しません。これでは離婚までに長い時間がかかるときの、夫の経済負担や精神的苦痛は増大します。最近、妻もけっこう元気で、離婚事由に決定打を欠くようなときには、とつとつと家を出て、長い別居期間そのものを「その他婚姻

を継続し難い重大な事由があるとき」にするような戦術をとります。前記事件の高裁での判断のように「この点については離婚の際の慰籍料又は財産分与において考慮されれば足りると考える」というのでは不十分だと、私は考えます。

マニュアル的な婚費算定方法

今の裁判所の婚費についての考え方はどんな腕の良い弁護士を代理人に就けても無駄でしょう。現在、全国の家庭裁判所では、東京・大阪の高裁・地裁それに家裁の判事で作っている「東京・大阪養育費等研究会」が発表しました「養育費・婚姻費用の算定方式と算定表の提案」の中にある算定表に基づいて婚費を算出しています。しかし、これには婚姻が破綻に至つた事情や離婚に至つた原因そしてその責任が夫婦のどちらにあるのかというようなことは、一切考慮されていません。極めて形式的に夫の年収や子供の数とその年齢でほぼ決定されます。敏腕弁護士が相手の方にこそ婚姻を破綻させた原因があり、別居も身勝手だと理路整然と論陣を張つても、それは完全に無視されます。裁判所は前記の算定法に基づいて、マニュアル通りその計算式に数字をあてはめ、

ナイトクッキングセミナー

後期受講生募集!

9月21日(木)~全8回

各日とも18:00~21:00

入会金 5,000円(稲門会の方は免除)

受講料 20,000円(1コース8回)



織田調理師専門学校

中野区中野5-32-8 03-3228-2111 <http://oda.ac.jp>

その結果得られた金額を夫の負担すべき婚費と認定します。この計算式には、その事件特有の個別の事情が加味される余地はないのです。そのようなわけで冒頭申し上げました通り、婚費をめぐる調停や審判事件についてはご本人だけでも十分やれるという次第なのです。

もつとも、申立する側(多くの場合は妻ということになります)は、やはり原則通り、弁護士に依頼すべきです。相手方の資産内容については、やはり弁護士の方を借りてこそ十分明らかになる筈です。

男性諸氏の受難の時代は、まだまだ当分続きそうです。

会長たより

中野稲門会設立のあゆみをふりかえる(下)

片平進一(野方・昭36商)

●9年8月5日

染谷先生が顧問就任承諾。染色ゼミOBで中野在住者10名ほど紹介していただく。

●9年10月11日

第1回世話人会開く。メンバー、谷資信、河合信義、伊藤清吾、大館辰之助、小林豊作、倉林晴、中村誠司、織田知明、藤堂隆、榎本照雄、津田信一、井上敬一郎、片平進一、平崎敏之、川瀬哲男、山田眞之介、石田耕治、望月登雄、岸宏昭、川澄幸男、石川学、服部隆、堺栄一、藤本るみ子、小西彦衛、種村隆行、壁谷道明、武部道雄、唐木強介、石塚貞布、菊池正人。設立趣旨、会則制定について協議する。

●9年11月17日

第2回世話人会。会員募集のため中野区を23のブロックに分けて世話人が呼び掛けのパンフレットをもってポスティング作業開始する。人数の多いブロックは一人で200人にも働きかけた。世話人の中には帰宅時間をねらって自宅へ電話をする呼び掛け作戦を展開した人もいる。

●9年12月19日

第3回世話人会。設立総会の日を10年7月5日と決定する。役員候補者の選考に入る。会長を谷資信名義教授に依頼するため、教え子の藤堂隆世話人が交渉にあたる。1週間後に引き受けてくださるとの返答を得る。副会長には井上敬一郎、榎本照雄、織田知明、津田信一、藤堂隆の5名。幹事長に片平進一、副幹事長に平崎敏之をそれぞれ決定。監査

は小西彦衛、種村隆行の2名。平崎世話人は膨大な事務量を一手にひきうけてくれる。

●10年3月8日

第4回世話人会。設立総会の運営について協議する。招待者の選別、式次第、懇親会の内容など。住所のわかる三千名名余の会員へ入会募集を開始したが、反応は今ひとつというところ。発信した入会案内は、……方、○○アパートという住所表示のところは転居先不明で戻り便が多い。15%ほどは戻り便である。今後は肩書きのある所へは発信しないことにする。

●10年4月10日

第5回世話人会。事業計画と予算作成の協議をする。予算作成で一番のポイントになるのは、入会者が何名になるかということであるが現段階では推定で予

算作成するしかない。来月には総会案内を出すので、その時点で見直しをせざるを得ないという結論に達した。

●10年5月16日

第6回世話人会。総会案内状の発送をする。会の活性化の一手段として趣味、運動等の同好の士を募ることにした。この同好会活動を通じて、会員の相互親睦がはかれることが狙いである。

●10年6月13日

第7回世話人会。総会(設立)の出席者数が160名となる。入会者は350名となる。入会率17%というところである。同好会の方は以後部をはじめ12の部へ45名の応募者があった。今後の会の活動を左右するのは、この同好会であろう。

●10年7月5日

設立総会開催。会場はリーガロイヤルホテル早稲田。来賓の奥島総長をはじめ多数の方のご出席を得て、東京23区区19番目の稲門会としてスタートした。(完)



暇ならお散歩・番外編 「雨なので、読書とつまみ」

鈴木伊津美（中野・昭55文）

梅雨に入ったので、お散歩せずについで塾居する。それでも傘を差して図書館には通う。中野区の図書館は、読みたい本の有無のチェックや、予約が、インターネットでできるので、便利だ。さらに先に予約があるときには何人予約があるかなどがわかる。

新聞や週刊誌の書評でそられる本があれば、まずチェック。狭い家ゆえに、なるべく図書館を利用して、やっぱり欲しい本は購入、というパターン。上京してかれこれ五回転居したが、「図書館のそば」というのが引越し先選定の要件だった。今も中央図書館に近いところに暮らしている。

さて、読書の次は、食事。簡単本格トマトソースの作り方を紹介します。簡単なので、ぜひためしてください。

- ①ホールドトマトの缶（百円くらいで売ってます）をボールにあげ、中のトマトを手で握るようにつぶす。
- ②鍋にオリーブオイルとにんにく一かけ、



- ③ニンニクを炒め、オリーブオイルを加えて、トマトを潰す。
- ④最後に軽く塩・胡椒で調整。たまねぎ炒めたりしなくてもよいので、お手軽なんです。鍋はできれば酸に強いホーローがよいです。

- ①のトマトと、生のバジルをちぎって入れる。生のバジルが無い場合は、乾燥バジルでOK。
 - ③弱火で二十〜三十分、煮詰める。ときどきかきまわす。
 - ④最後に軽く塩・胡椒で調整。塩は入れすぎないように注意。
- これをパスタに絡めるだけでもおいしい。飲み助さん用にはつまみもできます。
- パターン①タコのトマトソース**
耐熱容器に、ゆでタコそぎ切り（もしくはタコブツ）とトマトソースを入れ、ラップをして電子レンジでチン。
- パターン②なすのトマトソース**
なすを輪切りにして、油で焼く。耐熱容器に焼いたなすとトマトソースを入れ、ラップをして電子レンジでチン。
- これ、ワインでも、ビールでも、焼酎でも合います。雨の日にはさっぱりとしたおつまみ、おためしください。

詩うた「ブルー」

連載第十五回 坂田宏子（沼袋・昭41文）

相続の 財産あれば 争えり
我が家も同じ 修羅のらまたか
解説は要らない。つくづくとした感想である。

月面の 陰は亮が 餅つくこと
今でも信じたき 童話の世界

生きがいの ある人生を 望みては
文字と友と わが座定めし

刑務所の 囚人達を 描いている
ゴッホの筆は 悲情に満ちて

ゴッホの描く 囚人達の 群は皆
ブルーのあぶら うつくむ姿

吾が友は ものみの塔の 信奉者
退きせず 無抵抗とは

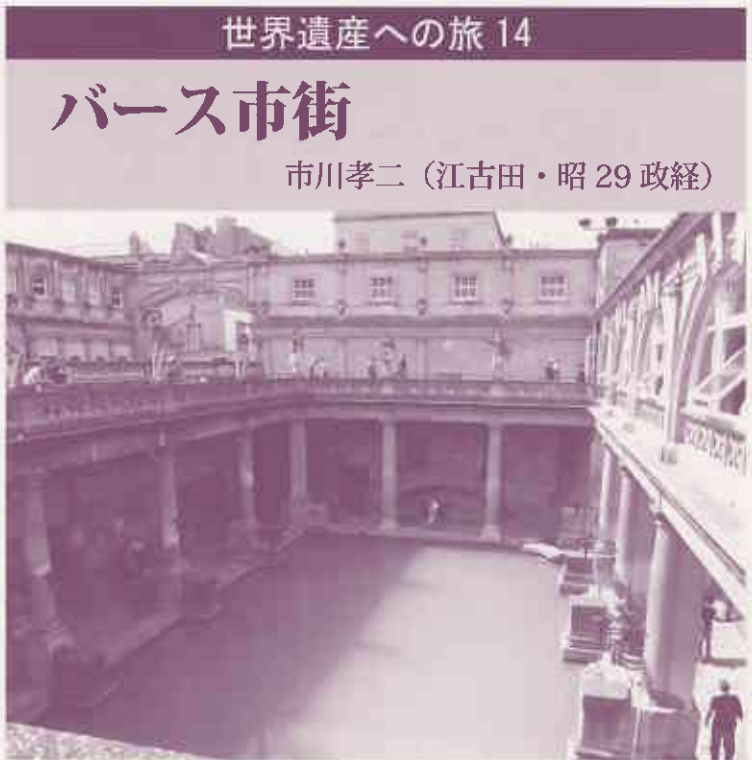
妹と 不仲と従姉 話する
吾も総領 似た境遇なり

貧富の差 親戚同士 分かれたり
貧乏すれば 音信不通

従姉と 年に四回茶話をする
こき父母と 妹のこと

刑務所の中庭に描かれている囚人達は、ブルーの色彩がベースになって暗い絵である。

千葉県に住む従姉と上野で茶話をする。従姉も私の話を楽しみにして「元気をもらおう」といつている。もう四年位続いているが、それ以前会って話をしたこともないのに、縁は異なるもの味なものである。ウマが合うのである。不思議である。



世界遺産への旅 14
バース市街
 市川孝二 (江古田・昭29政経)

紀元前60年頃のローマ支配時代、バースは得意の土木工事により温泉施設と神殿を作ったのです。英語の【風呂】の語源ともなったことは有名です。2世紀頃ローマの支配下で温泉の街として発展した。この温泉はさまざまな病気に効用ありと考えられたが、ローマ撤退後は一時すたれ、ローマ様式の浴場も破壊されたが、温泉の利用は継続したようです。バースは二千年以上の歴史を誇る鉱泉の街です。その後は修道院・教会が作られたが、17世紀末に大きく生

まれ変った。18世紀には「飲泉」の設備を整えた。パンプ・ルームが開かれて上流階級の人たちがきそって訪れ温泉地は保養の土地として絶大な人気を誇るようになりました。
 丘陵に囲まれ、市の中心をエイヴォン川が横切り景観は素晴らしいものです。ロンドンや港町プリストルも近く、貴族・資産家はここで贅沢で華やかな社交生活を送りました。
 景色よし、健康にもよしで、社交の舞台が整い、上流社会のお見合いも盛んでした。レイノ

ルス、ゲインズバラたちはここで肖像画を描きまくったそうです。バースで肖像画を描かせることはステータスの証でもあったのです。
 しかし、その後は社交の舞台が海辺の保養地に移るとバースは衰退したのでした。しかし、その分以前の面影も多く世界遺産に相応しい面影を伝えていきます。(1987年に文化遺産・登録)
 数あるジョージアン様式の建物の中で最高傑作は三日月状に円弧を描く集合住宅のロイヤル・クレセントです。
 しかし、ここでの圧巻は1880年に発見されて復元したローマ浴場(グレート・バス)



手を入れて温度を確かめる市川夫人。



です。
 ロンドンには何度も訪れているのに、ここは訪れていません。今回も「マイ・バス」を利用して「世界遺産バースとストーンヘンジ1日観光」12、200円/人に参加しました。美しい街の真ん中に「ローマ浴場」があります。
 建物に入り2階の回廊から競技プールのような温泉(グレート・バス)を眺めました。ローマ人の彫刻の向こうには、バース寺院が眺められます。1階の温泉の吐き出し口で、家内にしゃがんで「手を入れてみる」と言いました。(写真) 今でも45℃位です。ここ1階と地下は「ローマンバス・ミュージアム」になっており、発掘された彫刻、モザイクその他の資料(模型など)が展示されており、貸与されたガイド・ホーン(日本語もある)で解説されています。
 街は英国各地からの観光客で大賑わいでした。ロンドンにも近く、如何ですか訪問の価値ありですよ。



ローマン・バス、入り口の標識(写真上)と、街中を流れるエイボン川(写真左)。



施設内の温泉の傍に立つ筆者。



会員紹介

五味伯文（中野・平4文）

はじめまして。第一文学部平成4年卒、五味伯文と申します。この度、中野稲門会参加にあたり、自己紹介の寄稿をさせて頂きます。

私と早稲田との関わりは、思えば中学生時代に遡ります。しばしば父親に連れられ、国立競技場での大学ラグビー観戦に出かけ、特に十二月の早明戦へは毎年のように足を運んでいました。その関係で、早稲田の華麗な展開ラグビーにすっかり魅了されてしまった私は、何とかラグビーを始めたいという気持ち

から、高校は早大本庄高等学院に入学、ラグビー部に入部しセンターバックを務めていました。惜しくも、二年目の夏に右足の韌帯損傷を引き起こし、激しいスポーツを諦めざるを得なくなりましたが、今でもラグビーは好きで、競技場へ観戦に行っています。

大学へ入学後はドイツ文学を専攻し演劇史を研究する傍ら、ニューオルリンズジャズクラブ（略称「ニューオリ」）に入部、スポーツから一転してジャズ演奏を開始し、現在も様々な状況

で精力的な活動を継続しています。大学を卒業後は某印刷会社に就職し、約七年間の勤務を経て、やがて建物の建築設計に関心を持ち、専門の勉強を開始しました。現在は、父親の経営する建築設計事務所勤務、工場・店舗・共同住宅の設計や、耐震診断業務に携わっています。日々精進をモットーに、これからも多くを学んでいきたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

早稲田大学ラグビー部はこの4月より中竹新監督の標榜する「極」を実戦で体現すべく日々これ練習に励んできています。春の公式戦5試合の内、同志社大学、高麗大学、明治大学に圧勝。しかし、6月11日の対慶應大学戦では14対40で「これがあの早稲田なのか」と言われる程の惨敗。この背景には日本ラグビー協会の要請で主力選手4名が同日開催のU23日本選抜対U23外国人選抜戦及び主力選手2名が日本代表対イタリア代表戦に参加。対慶應戦にこの6名が参戦出来なかった事情を寸借したとしても、残念な結果でした。

6月28日の秩父宮ラグビー場では早稲田大学対関東学院大学の試合の前に故宿沢広朗氏に1分間の黙祷をして、キックオフ。早稲田は日本選抜・日本代表からチームに戻った5選手を含めて、全員が勝利を故宿沢広朗氏に捧げるべく奮戦しましたが、前半のドロップゴールで獲得した3点のみで、結局3対20で敗

●ラグビー通信●

退。気負いが空回りして、俊敏な出足、鋭いタックル、素早いボール回しが影を潜め、早稲田らしいゲーム展開を繰り広げることなくノーサイドのホイッスル。

8月の菅平入居宿では、早稲田ラグビー部全員は昨年度の勝利を一切忘れ、初心に帰って基礎体力の強化を始めとして、激しく激しい練習をし、9月から始まる関東大学対抗戦に果敢に挑戦し「さすが強豪早稲田だ」と言わしめるチームに変貌することを切に願っています。

早稲田だより

下の写真、見慣れた大隈講堂ですが、現在補修工事中で、白い布を覆われ、滅多に見ることのできない姿になっています。講堂の横に伸びるクレーン。こんなものがいつもあるようでは台無しですが、ほんのわずかな期間ならば、かえって物珍しさからシャッターを押してみました。



部会活動

こんな活動
やっています!

同好の士が集まって、活発に活動している各部会からの報告です。気になる部会があれば、お気軽にご連絡ください。

第13回中野稲門会ゴルフ部の報告



6月1日(木) 8時49分、若洲ゴルフリンクスに於いて、今季まれに見る快晴に恵まれて、ゴルフ部の春期コンペはスタートしました。東京湾の心地よい海風をうけ、巨大な風力発電の羽がゆったりと回転し、遠くには、羽田エアポートへ離発着する飛行機や行き交う船舶、都心の高層ビル群などを眺めながら、青松に囲まれた緑の絨毯の上でプレーすると云う、まことに好い1日となりました。

今回は昨年5月開催のコンペと同様に、杉並稲門会ゴルフ部会をお誘いし中野稲門会と親しく合同でゴルフ会を開催致しました。参加人数は杉並稲門会が15人、中野稲門会は直前の不参加が3名もあり14人となりましたが、昨年を上回る総勢29人と大盛況のコンペとなりました。競技は昨年の新へリア方式からハンディキャップ方式に改め18ホールのストローク

プレーで行われ、個人順位表彰の他に、両チーム上位7名のネットスコアーを集計して団体対抗戦としても競いました。

コース良し、天気良し、親睦交流好しで大変楽しい1日を過ごすことが出来ましたが、残念ながら競技成績の方は中野稲門会が昨年に続き、完敗の結果に終わりました。個人順位は優勝が杉並の名取さん、2位が中野の井波さん、3位は杉並の田中(保)さんで、他の10位以内の中野メンバーは6、8、10位の3人でした。対抗戦はネット527ST対507STで20ストロークも差をつけられてしまい、グロスの差も18ストロークとなつてしまいました。クラブハウスで行われた表彰パーティでは、恒例になったゲーム・オネストジョンの罰金計算とピツタリ賞の行方を追つて、楽しく賑やかで大いに盛り上がりました。(ピツタリ賞は中野、杉並ともに2名が当選し引き分けでした)

我が中野稲門会ゴルフ部会としては、この2連敗を黙つて見過ごすわけにはいきません。会員の皆さんに奮起と対抗意識を燃やしていただき、次回、杉並稲門会主催で9月29日に森林公園ゴルフ倶楽部にて開催される合同ゴルフ会に是非とも参加さ

れ、雪辱する事をお願いして今回の報告を終わります。

(I. 生記)



チエロ ストラヴィアアリウス

萩原博茂(政経 昭46上高田)

今回、音楽部会(第22回)音楽部会 Listen & Talk パーフォでは、はじめてヨーロッパアンクラシックをネタにしての時を過ごしました。1696年製ストラヴィアアリウス愛称『ボンジュール』と、シヨウ・アダムの弓をカナダ政府から貸与されたチエロの山上ジョアン薫の世界デビューツアーの二こまを早稲田奉仕園フェリスホールで鑑賞しました。ピアノ ヴァディム・グラドコフ(ウクライナ) ストラヴィアアリウス、マドリッドアントニオ・ストラディバリ (Antonio Stradivari, 1644年〜1737年12月18日) は、イタリア・クレモナ

の弦楽器製作者。ヴァイオリンは現在約600が現存する。ヴィオラやチエロについても約50製作。

●演奏曲目

- ① シューマン II アダージョとアレグロ (Aレ)
- ② ショパン II チエロソナタ (G)
- ③ ショパン 最晩年の作品でチエロ曲として唯一
- ④ バッハ II ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ #3 (Gm)

学生時代、ジャズベースを練習していた時、とある喫茶店で弓弾きのチエロの曲が聞こえてきた。郊外の緑が窓外に揺れて心地よく、珈琲を楽しみながら何気なく想っていた。

「良いジャズアルコ(弓弾き)だなー。誰のアドリブだろう?」それはバッハの無伴奏チエロ組曲だった。バッハのチエロ曲にはそんな想いがあります。

庭園の緑をバックにした快い音色をお茶とお菓子付で楽しみました。終演後は、高田牧舎にて楽しい会話に弾んだのは言うまでもありません。

音楽部会はリッスン&トーク パーフォ(音楽を聴きながら話しながら花を咲かせる、お酒付き)を随時行っています。企画参加も含めてご参加お待ちしております。



第1回観戦会
春季早慶戦観戦報告

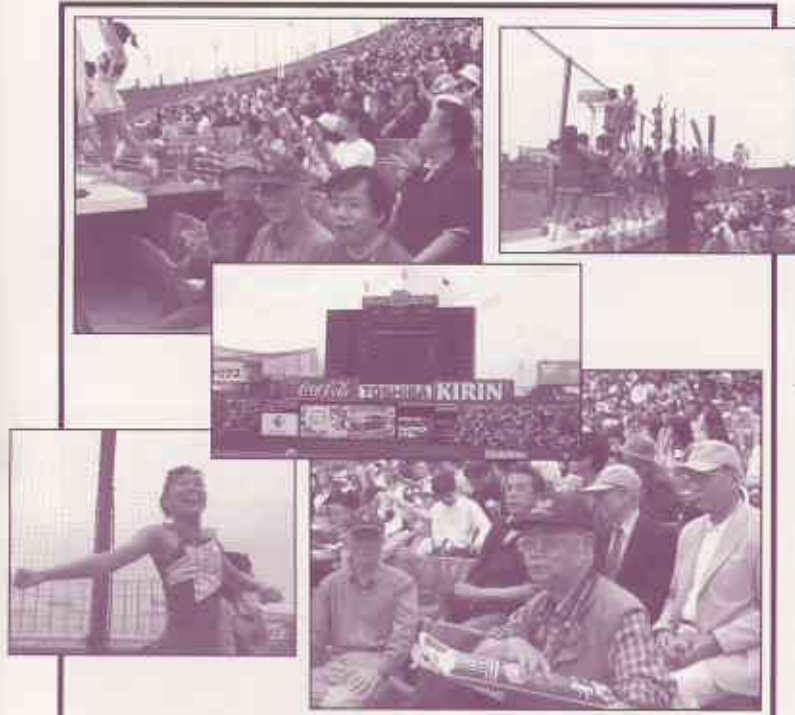
春季早慶六大学野球選手権の早慶戦は一回戦5月27日が雨で試合中止。翌28日は早朝から小雨が降り続きながらも、午後か

ら曇り後晴れの天気予報。9時30分過ぎに神宮球場に確認したところ、「本日の早慶戦は行わず予定」との由。取り急いで神宮球場3番ゲート付近に駆けつけると既に会員5名が待機中。早稲田応援団の方に「中野稲門会」の巨匠えてこの5名が先に入場し、小生は所用で遅れてきた会員の到着を待って一緒に入場。応援団の手配していた一塁ベースの近くで、更に学生応援席の一番前に「中野稲門会」7名が陣取って、試合開始前の早稲田応援団による応援指導を学生達と共に受け、また早稲田・慶應

の応援合戦を観戦。午後1時のプレーボールを合図に伝統の早慶戦の第一回戦が始まり、早稲田が3対0で慶應に勝利。この勝利と久し振りに早慶戦を堪能した学生気分を抱えて神宮球場を後にし、早速中野駅近辺の中華料理店で先ずビールで祝杯。途中2人が加わって学生気分そのままに学生時代の四方山話で盛り上がりました。さて、今後年末までの観戦計画は次の通りです。

●10月21日(土) 第83回箱根駅伝競走予選会で、早稲田駅伝メンバーを応援(会場:昭和記念公園の予定)
●10月末 秋季早慶戦を神宮球場で応援・観戦
●12月初旬 関東大学ラグビー對抗戦の早稲田対明治を観戦(会場:国立競技場)
現在、当同好会の会員26名ですが、観戦に興味のある方は是非入会されて一緒に早稲田を応援し、その後の懇親会で杯を重ね親睦を深めようではありませんか。新規に参加希望の方は観戦予定日の2週間前までに世話人代表まで御一報ください。会員及び新規の方々には観戦の詳細計画をご案内しますので、大勢の方々と一緒に観戦するようにならう。

り沙汰されている和田義彦氏のこと話が話題になったので、そのことに触れてみましょう。かつて、フランスの美術学校で、絵画の模写(Copie)、偽造、贋作(Faux)、模倣(Imitation)の違い、どこまで許されるか教えを受けた。古いことで、詳細に憶えていないが、模写(Copie)の二部のみが許されると憶えている。それから、絵画教室の生徒さんから、絵葉書、画集などを模写するのはよいのかとよく尋ねられる。道徳的な意味でなくて、多くは絵を習う上で、技術的に(手法として)よいかと尋ねるのであるが、中には模写した絵を描いた人の名前を書いて、その模写であることを書いておけばよいですね、と素人の生徒さんでもそのくらいは知っている。さて、和田義彦氏の絵を初めて見たのは、5年程前に、銀座の日動画廊で、森村誠一著作のための原画展である。国画会会員、東京至大大学院出身で、ローマ美術学校、ローマ国立中央美術学校に編入学、そしてパリ美術学校で学ばれたと略歴に記されていた。初めて見て、すばらしい白と黒を基調にした色彩に感銘を受け、そのタッチなどを今でも教



今季の六大学野球はいつにない混戦で、優勝争いは最後までもつれました。結局早慶戦の前週の法明戦で、法政が2連勝で勝ち点を挙げ、優勝を決めました。早慶戦での優勝こそありませんでしたが、勝ち点は優勝した法政と同じ4。返す返すも勝ち点のかかった対明治の3戦目で9回に追いつかれて勝ち点を失った試合が悔やまれます。とはいえ、法政や明治とは力の差のないことは証明できました。大谷、宮本の4年生投手のラストシーズンとなる秋季こそ、彼らに有終の美を飾ってもらおうべく、再び力一杯応援していきたいと思っています。



絵画部報告

絵画部講師 高田豊長

6月の教室は、生徒さん一人で、ご自宅を新築された山広さん宅へ招かれて、庭の花々を写生しました。その折にも、取

えを請いたいと思っっている。盗作だと主張するイタリアのアルベルト・スーギ氏の絵を見たことはないが、テレビの映像で見ると、和田氏の技術の方が、遠近、色彩、色価(Valuer) (パール)などは上であると思われる。なぜ構図などをあのように類似させたのか理解しがたい。

文化庁をはじめ、和田氏に賞を贈ったところが、次々と取り消しを発表しているが、偽造を見い出せなかったのを見ると、スーギ氏の絵はイタリアではともかく、日本(世界)では知られていなかったことになる。

和田氏は絵画創作の中で行き詰まり、苦悩の末に魔が差したとしか考えたくないが、有能な人だけに残念である。



今回はいよいよ50回目

6月17日、部会は49回目を迎えました。出席者は9名。いつ

もの場所で和気藹藹と、もてなしの料理に舌鼓を打ちながら美声? を競いあいました。中でも日頃から勉強に熱心なs氏は、今回も新曲を披露するために特別にレッスンされて参加されました。御歳も大先輩です。私など若輩者にとつてもその熱心さにはただただ脱帽するのみでありました。これでは何時になつても卒業できないなというのが参加された皆さんの実感でした。

ところで今回の開催は7月29日。会が持たれて第50回目にあたります。この節目に当たつて多彩なイベントを考えています。メンバーの方々はもとより会報の会員諸氏の多くのご参加をお待ちしております。ご参加希望の方は会幹事の菊池までFAXにてご連絡ください。



第1回歩こう会報告

浜離宮庭園から浅草へ

片平進一

7月1日(土)午前10時、ゆり

かもめ線汐留駅へ集合。6人の参加で第1回をスタートしました。この庭園は、海水を引き入れた潮入の池と二つの鴨場をつたえ、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果していた徳川将軍家の庭園です。国の特別名勝及び特別史跡に指定されています。八千坪の敷地には三百年前に植えられた松をはじめたくさんの植物が植えられています。約一時間庭内を散歩した後、水上バスで浅草へ向い

ました。両国橋をはじめ十四の橋の下を通り、約四十分で浅草到着です。仲見世通りをへて浅草寺参詣。昼食は肉の「米久」で取り、しばらく懇談のときをもちました。これからの稲門会のあり方などしばらく話し合いました。午後2時半現地解散。

●参加者 加治川英二(28年商)、山本知由(33年理工)、片平進一(36年商)、久保鐵夫(36年商)、熊澤明(37年商)、ゲスト 片平信子 計6名

【部会連絡先一覧】

興味を持ったらお気軽にご連絡ください

部会名	幹事	連絡先
ゴルフ部会	唐木強介	正木商会 TEL 3553-0951 FAX 3553-5355
		自宅 TEL 3388-8566
囲碁部会	武部道雄	自宅 TEL 3385-5379
カラオケ部会	菊池正一	自宅 TEL 3386-3753 FAX 3388-1780
絵画部会	高田豊長	自宅 TEL 3372-6929
音楽部会	萩原博茂	清香堂 TEL 3386-3640 FAX 3387-4272
		PHS 070-5072-8828
		E-mail shig212000@yahoo.co.jp
知の技術研究会	増山栄太郎	E-mail masuyama@ca.mbn.or.jp
	平崎敏之	中野稲門会事務局 TEL 3384-1400 FAX 3384-1489
広報部会	平崎敏之	中野稲門会事務局
	伊丹真	自宅 TEL 3398-8192
稲門女性ネットワーク	高田宜美	自宅 TEL / FAX 3383-0962
スポーツ観戦同好会	篠本京二	自宅 TEL / FAX 3386-1075
		E-mail shinomoto@m9.dion.ne.jp
歩こう会	片平進一	自宅 TEL / FAX 3387-5416



6月の例会のテーマは「PDFについて」

中野稲門会知技研の例会といえば、まずほとんどお酒が付きもの。中野の近辺で行うときは「魚民」の座敷と相場が決まっていたのですが、さすがに会員の中からも、飽きたというか、たまには同じ中野で集まるにしても、違う場所で行ってみるのはどうだろう、という声も出て、6月の例会は、中野でも初めてのお店「炙谷」にて6月17日(土)午後5時より開催されました。参加メンバーは、月幹事の永田のほか、市川、岩井、高田、伊藤、伊丹、鈴木の計7名。テーマは「PDFについて」でした。

PDFとは、組み合わせると「持ち運べる文書形式」という意味になる英単語の頭文字を連ねたものです。実はマイクロソフトが今年秋頃に発売を予定している次のバージョンの「オフィス」(ワードやエクセルなど、ビジネスシーンで頻繁に使用されるソフトがまとめてワンプックになっているもの)に、このPDF形式のデータを作成する機能が標準搭載されることになったため、「そもそも、PDFとは何なのか?」「それを使うことによって、どんな利点があるのか?」などの基本的な予備知識から入っていくというのが、主な狙いでした。会はいつものように、テーマのみにとどまらず、最近、多くのパソコンユーザーが困っている、スパムメール、迷惑メール対策など、とりとめのない広がりを見せましたが、概ね、有意義なひとときを持てたのではないかと思います。

書類の電子化、そしてその閲覧等に非常に便利とされてきたPDFですが、最近では公的な申請書類などもPDFで配布することが増えてきていますし、今後もその流れは加速することでしょう。今回は基礎知識の入門編でしたが、いずれは、加工作成などの方法もテーマにしなくてはならない時期がくるかもしれないかもしれません。

お店のほうも、いつもの「魚民」に比べれば、少し割高な感はありましたが、出てくる料理などは、まあそれに見合っただけのものだったように思います。さて、この6月の例会が終わると、我が知技研恒例の夏合宿の季節がやってきます。合宿先は、ここ2年ほど恒例となっている、千葉の岬町へ今年も向かう予定です。会報の「田舎暮らし」シリーズで平崎氏が書いておられた、あの岬町の家です。岬町で行う例会のテーマは定番の「よく使うサイト&最近見つけたおもしろサイト」ですが、ここでの合宿には、毎回それ以外にもいろいろなテーマというか課題も設定されており、まず食事。前回初めて使用したタッチオープンを使った料理のさらなるスキルアップ!

岬町山荘の裏山ツアー。さらに、今回の目玉は平崎氏が新たに手に入れた、川があるだけという土地。そこで、川遊びから釣り、ボート遊びと、すべてまだその場所では未経験という行動にチャレンジしようとしております。はてさて、どうなることやら?

その前の7月の例会は伊藤氏の幹事で、月末の29日に、自由テーマにて行われる予定。場所は、これまたこれまでの例会で使用したことのない、「坐・和民」の中野北口店となっております。

編集 後記

サッカーのワールドカップも終わったが、実はそちらの方面にはほとんど興味がわかない。逆にW杯が決勝トーナメントの佳境に入りだしてから日本の全国各地が始まる、夏の甲子園に向けた、各地区の地方予選のほうがかかるかになる性分である。

今年の優勝候補の筆頭は決まっている。選抜は辞退したものの、史上2度目の夏の3連覇をめざす北海道の駒大苫小牧だ。かつては、甲子園の優勝旗はいつ白河の関を越えるのか、などと言われていたが、今では一気に本州から北海道にまで渡ってしまい、その学校が連覇をしてしまったのだから、隔世の感がある。

とはいえ、このチームのエースで、松坂以来の人物と言われている田中将投手は、実は兵庫の伊丹出身だ。

昨年、甲子園の場で、挨拶に立った文科省の大臣が問題視発言した、野球留学で北海道に行った選手だ。この問題、以前も我が稲門会の方と話した折にも、話題になって、その方も否定的な見方をされて

おられた。まあ、それはそれぞれ別の考え方だろう。

ただ、それを規則によって制限する動きには、大きく異を唱えたい。野球も教育の一環というのであれば、自分が指導を受けたい監督や学校のところに行く自由を奪う権利は誰にもないと思うからだ。

ちなみに私は、大阪の出身。日本で一番野球留学生を送り出しているのは、やっぱり大阪で生まれ育った逸材なのだから、甲子園にも大阪を代表して出て欲しいという気持ちもあるにはある。だが、逆にレベルの高い大阪でもまわりたいと、他県からやってくる球児もいる。今年のドラフトの目玉が田中なら、来年の目玉と言われる大阪桐蔭の中田翔選手などは広島出身だ。私にとって、こうした選手も3年間、大阪の高校野球界でもまわったら、「それはもう大阪の選手や」という扱いになっってしまう。基本、大阪人はやっぱり欲張りなんかもしれない。まあ、私だけなのか?

(永田)